

## 四半期財務情報

本書面は、2011年8月3日にパリにて作成、配布されたプレスリリースの日本語版です。  
英語版と日本語版の内容に齟齬がある場合には、英語版が優先されるものとします。

パリ、2011年8月3日

### 2011年第2四半期：底堅い業績および資本の増強

- グループ業務粗利益は前年同期比で増加\*\*：65億ユーロ\*\*（前年同期比2.1%\*増）
- 全事業部門でリスク引当比率の低下を確認：58bp\*\*\*（前年同期比28bp低下）
- ギリシャ国債の評価損の計上：税引き前3億9,500万ユーロの損失、税引き後2億6,800万ユーロの損失
- グループ当期純利益：7億4,700万ユーロ
- グループ財務力の強化：コア Tier 1 比率は9.3%、バーゼルII基準のTier 1 比率は11.3%<sup>(1)</sup> →2011年第2四半期に資本は0.5%増強

### 2011年上半期：堅固な実績

- グループ業務粗利益\*\*：135億ユーロ\*\*、前年同期比4.4%\*増
- グループ当期純利益：
  - 16億6,300万ユーロ
  - 金融債務の再評価による影響の控除後：18億9,100万ユーロ（前年同期と同程度）
- 一株当たり利益<sup>(2)</sup>：2.05ユーロ

\* グループ編成変更および為替相場の変動の影響を調整後（次ページ以降も適用）

\*\* 金融債務の再評価による影響の控除後

\*\*\* 訴訟問題、レガシー資産、ギリシャ国債の評価損の計上による影響の控除後のリスク引当ベース

(1) フロア効果（フロア水準に関する追加必要資本）の控除後

(2) 超劣後債（1億5,000万ユーロ）および永久劣後債（1,200万ユーロ）に係る支払利息の控除後

SERVICE DE PRESSE  
SOCIETE GENERALE

Laetitia MAUREL  
+33 (0)1 42 13 88 68

Astrid BRUNINI  
+33 (0)1 42 13 68 71

Hélène MAZIER  
+33 (0)1 58 98 72 74

Laura SCHALK  
+33 (0)1 42 14 52 86

Assistante : +33(0)1 42 14 67 02  
Fax : +33(0)1 42 14 28 98

SOCIETE GENERALE  
COMM/PRS  
75886 PARIS CEDEX 18  
[www.societegenerale.com](http://www.societegenerale.com)

Société Anonyme au capital de 933 027  
039 EUR  
552 120 222 RCS PARIS

2011年8月2日に開催されたソシエテ ジェネラルの取締役会において、当グループの2011年第2四半期および2011年上半年期の決算が承認された。第2四半期のグループ当期純利益は7億4,700万ユーロとなった。これには、7月21日に締結された欧州協定に基づいて算出した、ギリシャ国債の評価損2億6,800万ユーロ（税金および少数株主持分の控除前では3億9,500万ユーロ）が含まれている。

2011年第2四半期には、先進諸国において緩やかな景気回復が一段と確認されたものの、政治情勢に伴い、欧州ソブリン債に対する懸念の高まりは、リスク回避指向の高まりや不安定な市場動向をもたらした。このような背景の中、ソシエテ ジェネラルは、より厳格な規制環境へのグループの適応を目的とした戦略を継続的に実施し、資本管理の強化、市場リスクへのエクスポージャーの削減、流動性ニーズの確保、資金調達源の分散化などを行った。

第2四半期の業績は、依然として好悪まちまちの世界の経済・金融状況を反映する内容であった。フランス国内ネットワーク部門の業績は順調な内容であった。第1四半期にアフリカおよび地中海沿岸地域における政治不安の影響を受けた国際リテール バンキング部門の業績は回復に転じた。さらに、専門金融&保険部門のグループ業務粗利益への寄与は引き続き増加した。また、コーポレート&インベストメント バンキング部門の業績は、市場環境が悪化する中で高い回復力を実証した一方で、プライベート バンキング、グローバル インベストメント マネジメント&サービス部門は、不利な市場環境および第2四半期の特別引当金の計上による影響を受けた。

当グループの会長兼CEOであるフレデリック・ウデアは次のように述べています。「第2四半期決算は不透明な経済・金融環境における当グループの堅固性を実証することとなりました。第2四半期決算は、各事業の確かな実績を反映していることに加えて、予想通りその影響は限定的ではあったものの、ギリシャ国債に係る評価減の計上も組み込まれています。当グループは上半期において、大幅に資本増強する力があることをあらためて実証しました。

2012年のグループ当期純利益の目標額60億ユーロを予定通りに達成するのは一見困難に見えますが、堅固な実績に加えて、資本およびリスク調整後資産の非常に統制のとれた管理、ならびに経費およびリスクの厳格な管理などを同様に優先的に行うことにより、ソシエテ ジェネラル グループは、2013年末までに最低でも9%のパーゼルIII基準のTier 1比率を達成する予定です。

上半期の当グループの実績を考慮すると、業績の継続的な成長および『アンビションSG 2015計画』に掲げられている変革目標が達成されることを、私は確信しています。」

## 1. グループ連結決算

単位：百万ユーロ	2010年 第2四半期	2011年 第2四半期	増減	2010年 半期	2011年 半期	増減
業務粗利益	6,679	6,503	-2.6%	13,260	13,122	-1.0%
比較可能ベース*			-1.6%			-1.1%
業務粗利益**	6,425	6,487	+1.0%	12,905	13,467	+4.4%
比較可能ベース*			+2.1%			+4.4%
営業費用	-4,065	-4,241	+4.3%	-8,066	-8,617	+6.8%
比較可能ベース*			+6.0%			+7.6%
営業総利益	2,614	2,262	-13.5%	5,194	4,505	-13.3%
比較可能ベース*			-13.4%			-14.4%
引当金	-1,010	-1,185	+17.3%	-2,142	-2,063	-3.7%
営業利益	1,604	1,077	-32.9%	3,052	2,442	-20.0%
比較可能ベース*			-33.5%			-22.0%
当期純利益	1,084	747	-31.1%	2,147	1,663	-22.5%
当期純利益**	916	737	-19.6%	1,913	1,891	-1.1%

	2010年 第2四半期	2011年 第2四半期		2010年 半期	2011年 半期	
グループ税引き後 ROE	10.9%	6.9%		11.0%	7.8%	
事業部門税引き後 ROE	9.1%	6.8%		9.7%	9.0%	

### 業務粗利益

当グループの業務粗利益は、2011年第2四半期は65億ユーロ（前年同期：67億ユーロ）となり、また2011年上半期は131億ユーロと133億ユーロだった前年同期の水準を僅かに下回った。

金融債務の再評価による影響（2010年第1四半期の業績にはプラスに、2011年第1四半期の業績にはマイナスに寄与）の控除後では、業務粗利益は第2四半期で前年同期比2.1%\*増、上半期では同4.4%\*増の135億ユーロとなった。

この傾向は、リテールバンキング事業の順調な実績およびソシエテジェネラルのコーポレート&インベストメントバンキング事業活動の回復力を反映している。

- **フランス国内ネットワーク部門**の2011年第2四半期の業務粗利益は前年同期比5.5%増（PEL/CEL口座に係る引当金変動の影響およびSMCの控除後では同1.0%増）の20億3,800万ユーロとなった。調整をしていないベース（以下、「絶対ベース」）では、当部門の2011年上半期の業務粗利益は前年同期比6.6%増（PEL/CEL口座に係る引当金変動の影響およびSMCの控除後では同2.8%増）となった。
- **国際リテールバンキング部門**の2011年第2四半期の業務粗利益は前年同期比1.4%\*増の12億6,000万ユーロであった。業績の回復は、アフリカおよび地中海沿岸地域の業務状態の緩やかな平常化に加えて、中・東欧諸国の経済状況が改善に転じたことなどに起因する。当部門の2011年上半期の業務粗利益は前年同期比1.1%増の24億4,900万ユーロであった。
- **コーポレート&インベストメントバンキング部門**の業務粗利益は、市場環境、特にフロー業務が停滞する中、前年同期比7.4%\*増の18億3,500万ユーロとなった。第2四半期の業績は、ファイナンス&アドバイザー事業に加えて、ストラクチャード商品の販売事業に支えられたものであった。

当部門のレガシー資産は2011年第2四半期の業務粗利益に対して、4,300万ユーロと小幅ながらプラスに寄与した。

全体では、当部門の2011年上半期の業務粗利益は前年同期比6.5%\*増の41億1,500万ユーロとなった。

- **専門金融サービス&保険部門**の業務粗利益は、2011年第2四半期は前年同期比0.3%\*増、上半期は同4.2%\*増と僅かながら増加した。専門金融サービスにおいては、業績の改善は主に車両オペレーショナルリース・車両管理事業の良好な実績および消費者金融事業の方向転換を反映したものであった。また同時に、当部門の保険事業の業務粗利益への寄与は増加を続け、第2四半期は前年同期比17.7%\*増、上半期は同16.4%\*増となった。
- **プライベートバンキング、グローバルインベストメントマネジメント&サービス部門**においては、特にアセットマネジメント事業とブローカー事業が困難な市場環境に見舞われ、第2四半期の業務粗利益に影響をもたらした。プライベートバンキング事業およびセキュリテイズサービス事業の目覚ましい成長にも関わらず、第2四半期の業務粗利益は5億4,700万ユーロと、前年同期の5億9,200万ユーロを下回った。当部門の上半期の業務粗利益は前年同期比3.0%\*増の11億2,700万ユーロであった。

金融債務の再評価による影響は、2011年第2四半期は1,600万ユーロの利益（前年同期は2億5,400万ユーロの利益）と、限られたものであった。その影響により、2011年上半期には総額3億4,500万ユーロの損失（前年同期は3億5,500万ユーロの利益）となった。

### **営業費用**

2011年第2四半期の営業費用は前年同期比4.3%増の42億ユーロ、上半期は同6.8%増の86億ユーロとなった。

絶対ベースでは、前期比3.1%減となった。

経費率は2011年第2四半期で65.4%\*\*、上半期で64.0%\*\*と、当グループを変革させるための投資努力および2011年第2四半期の環境が財務活動にとってそれほど良好ではなかったことを反映している。

### **営業利益**

金融債務の再評価による影響の控除後では、当グループの2011年第2四半期の営業総利益は22億ユーロ（前年同期：24億ユーロ）となった。2011年上半期では49億ユーロと、前年同期とほぼ水準であった。

第2四半期のリスク引当は、ギリシャ国債に係る3億9,500万ユーロの評価損を計上したことから、前年同期比17.3%増、前期比35.0%増の11億8,500万ユーロとなった。評価損の計上およびコーポレート&インベストメントバンキング部門のレガシー資産のリスク引当による影響の控除後では、当グループの第2四半期のリスク引当は前期比15.5%減の6億6,000万ユーロとなった。

ギリシャ国債の評価損を計上したにも関わらず、2011年上半期のリスク引当総額は前年同期比3.7%減の20億6,300万ユーロ（前年同期：21億4,200万ユーロ）となった。

2011年第2四半期の当グループのリスク引当比率は58bp<sup>(a)</sup>（前期より12bp低下）と、2010年第1四半期に始まった低下トレンドが改めて確認された。

- **フランス国内ネットワーク部門**のリスク引当比率は36bp（前年同期：52bp、前期：40bp）と、予想通り低下を続けた。
- **国際リテールバンキング部門**のリスク引当比率は149bp（前年同期：192bp、前期：174bp）と低下を続けた。チェコ共和国およびロシアの現在の経済状況にも関わらず、これら諸国のリスク引当は引き続き低水準で抑えられ、またルーマニアは安定していた。サハラ以南のアフリカおよび地中海沿岸地域の第2四半期のリスク引当は引き続き限定的であった。しかしながら、当グループが採用している慎重な方針に従い、2011年第1四半期に計上されたポートフォリオを基準とする5,100万ユーロの引当金は維持された。経済環境が悪化を続ける中、ギリシャの純リスク引当は高水準で維持された。

\*\*金融債務の再評価による影響の控除後

<sup>(a)</sup> 年率ベース、訴訟問題、期初現在での資産に係るレガシー資産およびギリシャ国債の評価損の計上の影響の控除後

- コーポレート&インベストメント バンキング部門の第2四半期の主力事業部門のリスク引当は0bp（前年同期：10bp、前期：12bp）とごく僅かであった。レガシー資産のリスク引当は1億3,000万ユーロと引き続き抑制されている。
- 専門金融サービス部門の2011年第2四半期のリスク引当は前年同期比約80bp低下の156bp（前年同期：234bp）となった。第2四半期の消費者金融事業および設備ファイナンス事業のリスク引当は、全体的に前期比で安定している。

また、グループ・レベルにおいても、2011年第2四半期の不良債権引当率は71%と、2011年第1四半期末時点（72%）からほぼ安定している。

当グループは2011年第2四半期に、2011年7月21日に締結された欧州協定に従い、ギリシャ国債の評価損として3億9,500万ユーロを計上した。実際に交換されるまでは、評価損はコーポレートセンターに計上される。

当グループの2011年第2四半期の営業利益は10億7,700万ユーロと、前年同期比では33.5%\*減となったものの、金融債務の再評価およびギリシャ国債の評価損の計上による影響の控除後では、同7.9%増となった。

2011年上半期の営業利益は24億4,200万ユーロと、金融債務の再評価およびギリシャ国債の評価損の計上による影響の控除後で前年同期比18.02%増（22.0%\*減）となった。

### **当期純利益**

所得税（当グループの実効税率：27.8%）および少数株主持分の控除後では、当期純利益は2011年第2四半期で7億4,700万ユーロ（前年同期：10億8,400万ユーロ）、上半期で16億6,300万ユーロ（前年同期：21億4,700万ユーロ）となった。

上半期のグループ当期純利益は前年同期比で安定\*\*していたが、ギリシャ国債の評価損を計上した影響から、第2四半期は前年同期19.6%\*\*減となった。

当グループの税引き後ROEは、第2四半期は6.9%、上半期は7.8%であった。

超劣後債および永久劣後債に係る支払利息<sup>1</sup>の控除後では、2011年上半期の一株当たり利益は2.05ユーロとなった。

---

<sup>1</sup> 2011年6月末現在の超劣後債および永久劣後債に係る税引き後の支払利息はそれぞれ1億5,000万ユーロおよび1,200万ユーロであった。

\*\* 金融債務の再評価による影響の控除後

## 2. グループの資本構成

---

株式配当支払いの申し込みが成功裏に行われた結果、当グループの自己資本は 9 億ユーロ増加し、1 株当たり 37.18 ユーロで合計 2,390 万の新株が発行され、当グループの発行株式数は 7 億 7,030 万株となった。

2011 年 6 月 30 日現在の自己資本は総額 476 億ユーロ<sup>1</sup>および 1 株当たり純資産価値は 54.15 ユーロ（未実現キャピタルゲインの 0.46 ユーロを含む）であった。

2011 年 4~6 月期に、ソシエテ ジェネラルは自社株の買戻しを実施しなかった。その結果、2011 年 6 月 30 日現在、ソシエテ ジェネラルは、トレーディング目的の保有分を除き、直接的および間接的に、株主資本の 2.6%相当となる、2,000 万株の自社株（890 万株の金庫株を含む）を保有していた。また同時点において、ソシエテ ジェネラルは従業員に付与するストックオプション計画を賄うために 750 万株の購入オプションを保有していた。

経済環境が不安定な中、第 2 四半期を通して慎重な管理方針、特に市場リスクへのエクスポージャーを削減したことを反映し、バーゼル II 基準のリスク調整後資産は、2011 年 3 月 31 日の 3,333 億ユーロに対して、2011 年 6 月 30 日現在は 3,330 億ユーロとなった。

2011 年 6 月 30 日現在の Tier 1 比率は 11.3%<sup>2</sup>と、3 月 31 日の 10.8%から 44bp 改善した。上半期に当グループの資本ベースは大幅に増強された。2011 年 6 月 30 日現在のバーゼル II 基準のコア Tier 1 比率は 9.3%（2010 年 12 月 31 日：8.5%、2011 年 3 月 31 日：8.8%）と 74bp 改善した。当グループの利益創出能力および 2010 年度の良い決算を受け、株主の 68%相当が株式配当支払いのオプションを行使したこと（コア Tier 1 に 60bp の寄与）が主な要因である。主に資産の売却および分割を通じたレガシー資産ポートフォリオの徹底的な管理により、Tier 1 比率は上半期に 15bp 上昇した。

グローバル従業員持株制度に基づく株式付与スキームへの従業員の積極的な参加を受け、Tier 1 比率は下半期も上昇を続けるとみている。

流動性に関しては、2011 年 7 月 20 日現在、当グループは 2011 年の発行計画の 94%に相当する、総額 241 億ユーロの、満期が 1 年超の上位債を発行した。この「バニラ債」の発行計画は、ソシエテ ジェネラルの無担保債および有担保債の資金調達計画から成り、92%が完了している。

当グループはムーディーズより Aa2、S&P およびフィッチより A+の格付けを付与されている。

---

<sup>1</sup> この数値には主に(i)62億ユーロの超劣後債、8億ユーロの永久劣後債、および(ii)3億5,000万ユーロの未実現キャピタルゲインが含まれる

<sup>2</sup> フロア効果（フロア水準に関する追加必要資本）の控除後：Tier 1 比率は 18bp 低下

### 3. フランス国内ネットワーク部門

単位：百万ユーロ	2010年 第2四半期	2011年 第2四半期	増減	2010年 半期	2011年 半期	増減
業務粗利益	1,931	2,038	+5.5%	3,823	4,078	+6.6%
<small>PEL/CEL 引当金の影響およびS-04711の株式売却益を除く</small>			+1.0%			+2.8%
営業費用	-1,240	-1,293	+4.3%	-2,481	-2,617	+5.5%
営業総利益	691	745	+7.8%	1,342	1,459	+8.7%
<small>PEL/CEL 引当金の影響およびS-04711の株式売却益を除く</small>			+0.3%			+3.2%
引当金純繰入額	-216	-160	-25.9%	-448	-339	-24.3%
営業利益	475	585	+23.2%	894	1,120	+25.3%
当期純利益	312	384	+23.1%	591	736	+24.5%
<small>PEL/CEL 引当金の影響およびS-04711の株式売却益を除く</small>			+15.3%			+19.1%

フランス国内ネットワーク部門（ソシエテジェネラル、クレディ デュ ノール、ブルソラマ）が発表した第2四半期決算は、グループの目標に沿った結果となった。

金融市場への不信と短期金利の上昇が目立つ状況下で、預金残高は前年同期比10.0%<sup>(a)</sup>増の1,362億ユーロとなった。特に要求払い預金（前年同期比8.9%<sup>(a)</sup>増）、規制貯蓄制度（*Épargne à Régime Spécial*）（PEL口座控除後で同11.9%<sup>(a)</sup>増）、ならびに法人顧客の定期預金（同23.4%<sup>(a)</sup>増）が増加した。

法人顧客事業は、顧客満足度の改善をめざした措置、特に貸出承認までの期間短縮が功を奏した。その結果、当部門は企業投資の小幅改善が寄与し、中期ローンの新規貸出高が大幅に伸びた。住宅ローンの新規契約の動きが活発だったこともあり（前年同期比4.8%<sup>(a)</sup>増）、貸出残高は1,693億ユーロとなった（同2.9%<sup>(a)</sup>増）。

預貸率は124%と、前年同期比で9.7ポイント低下した。

預金者が流動性の高い無リスクの投資を探求する中、当部門の生命保険商品の魅力は失われなかった。フランス市場は減速したものの、グループの新規受入資金は23億7,400万ユーロ（SMCを除く）と前年同期比で安定的に推移した一方、グループ全体の契約残高は804億ユーロとなった。

当部門の第2四半期の財務実績は、年初に設定した目標に沿った結果となった。規制貯蓄制度の金利引き上げに加え、厳しい競争環境下で住宅ローン、企業ローンの利ざやが縮小したにも関わらず、業務粗利益は前年同期比3.7%<sup>(b)</sup>増の20億3,800万ユーロとなった（SMCの買収控除後では1.0%<sup>(b)</sup>増）。収益を支えたのは、主に預金の伸びを背景とする利ざやの拡大（前年同期比4.4%<sup>(b)</sup>増）、次いで手数料の増加（同2.9%<sup>(b)</sup>増）だった。営業費用は、情報システム共有関連の投資とSMCの統合を含めても12億9,300万ユーロ（同4.3%増）と引き続き抑制された。この結果、当部門の第2四半期の経費率は64.4%<sup>(b)</sup>となった。

2011年上半期の業務粗利益は40億7,600万ユーロと、前年同期比5.5%<sup>(b)</sup>増加した（SMCの買収控除後は2.8%<sup>(b)</sup>増）。また、上半期の営業費用は同5.5%増の26億1,700万ユーロだった。経費率は64.6%<sup>(b)</sup>と安定した推移となった。

営業総利益は、第2四半期が前年同期比2.6%<sup>(b)</sup>増の7億4,500万ユーロ、上半期は同5.4%<sup>(b)</sup>増の14億5,900万ユーロとなった。

当部門の第2四半期のリスク引当比率は36bpに低下した（前年同期は52bp）。この低下傾向は、法人顧客の改善を反映している。損失率は個人顧客については引き続き低水準だった。

(a) SMC の買収の控除後

(b) PEL/CEL 関連の控除後

当部門のグループ当期純利益への寄与は、2011年第2四半期が3億8,400万ユーロ（前年同期比23.1%増）、2011年上半期が7億3,600万ユーロ（同24.5%増）となった。

#### 4. 国際リテールバンキング部門

単位：百万ユーロ	2010年 第2四半期	2011年 第2四半期	増減	2010年 半期	2011年 半期	増減
業務粗利益	1,240	1,260	+1.6%	2,423	2,449	+1.1%
比較可能ベース*			+1.4%			-0.5%
営業費用	-699	-754	+7.9%	-1,357	-1,492	+9.9%
比較可能ベース*			+8.0%			+8.7%
営業総利益	541	506	-6.5%	1,066	957	-10.2%
比較可能ベース*			-7.1%			-12.2%
引当金純繰入額	-334	-268	-19.8%	-700	-591	-15.6%
営業利益	207	238	+15.0%	366	366	0.0%
比較可能ベース*			+12.8%			-4.4%
当期純利益	125	116	-7.2%	239	160	-33.1%

2011年第1四半期は一部諸国の政治の混乱と厳しい経済状況の影響を受けたが、2011年第2四半期は、国際リテールバンキング部門のトレンドが上向いたうえ、収益がやや改善し、事業モデルの底堅さが実証される結果となった。

適切な営業戦略が奏功し、貸出残高および預金残高はそれぞれ659億ユーロ、651億ユーロに増加した（前年同期比5.1%\*増、2.1%\*増）。預貸率は101%と、2011年第1四半期から若干拡大した。

中・東欧諸国（ロシアを除く）では、第2四半期は前期に比べて商業活動が回復し、業績が全般に改善した。貸出残高は前期比で2.6%\*増加した一方、預金残高も同1.7%\*増加した。チェコ共和国では、第2四半期は景気回復と営業努力の結果、前期比で貸出残高、預金残高がともに増加傾向となった（それぞれ4.3%\*増、2.6%\*増）。ルーマニアでは、成長軌道への回帰が予想より遅れたことから、BRDは業績を支えるため、対象を絞り込んだ一連の販促活動に着手した。BRDの第2四半期の業務粗利益は11.3%\*増加した。当地域の他の国でも経済が健全に推移し、貸出残高は前期比で0.9%\*増加した。ギリシャの状況は引き続き厳しいため、当グループでは、数四半期にわたって実施している事業再編の取り組みを継続した。

ロシアでは、営業インフラを再編事業モデルを調和させるため、グループの事業再編の一環として多額の投資を行っている。貸出残高と預金残高がそれぞれ前年同期比10.4%\*、5.7%\*増加した個人顧客に牽引され、業務粗利益は前年同期から増加した。

地中海沿岸地域のいくつかの子会社は、顧客数の増加を背景に（前年同期比8.7%\*増、個人顧客については同9.1%\*増）業績が上向いた。エジプトとチュニジアは正常に戻りつつあり、貸出残高は、個人顧客を中心に（それぞれ前年同期比18.0%\*増、16.6%\*増）それぞれ18.3%\*、22.5%\*増加した。同期間の地域全体の預金残高も増加した（エジプトでは法人顧客の14.3%\*増を含め、8.8%\*増）。

サハラ以南のアフリカおよびフランス国外領土では、第2四半期はコートジボワールの子会社の再開という大きな動きがあり、この子会社は第2四半期に2,350万ユーロの業務粗利益を計上した。地域全体の貸出残高、預金残高が増加した（それぞれ前年同期比6.9%\*増、8.3%\*増）。

このような背景から、2011年第2四半期の国際リテールバンキング部門の業務粗利益は12億6,000万ユーロとなり、前年同期比では小幅の増加（1.4%\*増）（絶対ベースでは同1.6%増）、前期比では6.0%の増加となった。



第 2 四半期の営業費用は 7 億 5,400 万ユーロと、高インフレが続くロシアでの費用増、合併コスト、社会保障負担金の増加により、前年同期比 8.0%\*の増加となった。

全体として、第 2 四半期の営業総利益は前年同期比 7.1%\*減の 5 億 600 万ユーロとなった。経費率は 3.4 ポイント上昇して 59.8%であった。

2011 年上半期の業務粗利益は 24 億 4,900 万ユーロで、前年同期比で安定していた（0.5%\*減、絶対ベースでは 1.1%増）。上半期の営業費用は、特に上述のロシアでの費用増が影響し前年同期比 8.7%\*増（絶対ベースでは 9.9%増）の 14 億 9,200 万ユーロとなった。営業総利益は 9 億 5,700 万ユーロで、12.2%\*減少した（絶対ベースでは 10.2%減）。上半期の経費率は、前年同期の 56.0%に対して 60.9%だった。

当部門の 2011 年第 2 四半期の純リスク引当は、2 億 6,800 万ユーロと大幅に減少し（前年同期は 3 億 3,400 万ユーロ）、引当比率は 149bp となった（前年同期：192bp、前期：174bp）。特に減少幅が大きかったのは地中海沿岸地域だった。引当額はチェコ共和国とロシアでは若干低くなったが、ルーマニアでは安定的に推移した。コートジボワール、チュニジア、エジプトでは、依然厳しい状況を踏まえ、グループの慎重かつ厳格なリスク管理に基づいてポートフォリオ・ベースの引当金が維持された。

2011 年第 2 四半期の当部門のグループ当期純利益への寄与は 1 億 1,600 万ユーロ、上半期では 1 億 6,000 万ユーロだった。

## 5. コーポレート&インベストメントバンキング部門

単位：百万ユーロ	2010 年 第 2 四半期	2011 年 第 2 四半期	増減	2010 年 半期	2011 年 半期	増減
業務粗利益	1,751	1,835	+4.8%	3,895	4,115	+5.6%
比較可能ベース*			+7.4%			+6.5%
ファイナンスおよびIT・ハイパー グローバルマーケット	656	655	-0.2%	1,258	1,296	+3.0%
レガシー資産	1,024	1,137	+11.0%	2,589	2,734	+5.6%
営業費用	-1,074	-1,163	+8.3%	-2,226	-2,478	+11.3%
比較可能ベース*			+12.7%			+12.3%
営業総利益	677	672	-0.7%	1,669	1,637	-1.9%
比較可能ベース*			-0.6%			-1.3%
引当金純繰入額	-142	-147	+3.5%	-375	-281	-25.1%
レガシー資産	-97	-130	+34.0%	-311	-226	-27.3%
営業利益	535	525	-1.9%	1,294	1,356	+4.8%
比較可能ベース*			-3.1%			+5.4%
当期純利益	410	449	+9.5%	951	1,040	+9.4%

(1) うち「エクイティ」は 2011 年第 2 四半期に 6 億 1,500 万ユーロ（前年同期：3 億 5,700 万ユーロ）、「債券・為替・コモディティ」は同第 2 四半期に 5 億 2,300 万ユーロ（前年同期：6 億 6,700 万ユーロ）。

欧州のソブリン債危機と投資家の「静観」の姿勢が続く市場環境のなかで、**コーポレート&インベストメントバンキング部門（SG CIB）**の収益の底堅さが実証された。2011 年第 2 四半期の当部門の業務粗利益は 18 億 3,500 万ユーロ（4,300 万ユーロのレガシー資産を含む）と、前年同期比で 7.4%\*増加した（絶対ベースでは 4.8%増）。

マーケット業務の第 2 四半期は環境の低迷を受け、SG CIB のリスク・プロファイルを低下させる要因となった（市場 VaR は前期比 9%低下）。フロー商品の業績悪化とは対照的に、仕組み商品は好調に推移した。SG CIB は『ユーロマネー』誌（2011 年 7 月）から「ストラクチャード プロダクツ ハ

ウス オブ ザ イヤー」に選ばれ、そのワールドクラスの強みを示した。全体として第 2 四半期の業務粗利益は前年同期比 13.1%\*増加した（絶対ベースでは同 11.0%増）。

**エクイティ業務**の業務粗利益は 6 億 1,500 万ユーロと、絶対ベースでは前年同期比 72%の大幅増加となった。仕組み商品の業績好調に加え、ETF を中心とする上場商品が四半期としては過去最高を記録した。また、当部門は「エクイティデリバティブにおけるグローバルプロバイダー」および「エキゾチック エクイティデリバティブにおけるグローバルプロバイダー」の両カテゴリーで 1 位にランクされ（『リスク』誌：2011 年 6 月の機関投資家ランキング）、エクイティデリバティブ首位の座をさらに固めた。

逆風の市場環境を背景に、**債券・為替・コモディティ業務**の業務粗利益は、前年同期の 6 億 6,700 万ユーロに対して、2011 年第 2 四半期は 5 億 2,300 万ユーロと減少した。そうしたなかでも仕組み商品、特にアジアの金利、FX 商品が健全なトレンドを維持していることが確認された。減収にも関わらず、SG CIB は引き続きフロー業務を拡大した。特に、「FX All」電子プラットフォームの市場シェアが拡大している（前期の 6%から第 2 四半期は 6.7%に）FX 業務に注力した。また、当部門は「中・東欧におけるベスト FX プロバイダー」（『グローバルファイナンス』誌、2011 年 1 月）に選ばれたほか、アルファ FX プラットフォームは、「イノベーション アワード（デジタル FX アワード）」（『プロフィット&ロス』誌、2011 年 4 月）を受賞した。

第 2 四半期の**ファイナンス&アドバイザリー事業**は底堅い業績を確保した。業務粗利益は 6 億 5,500 万ユーロと、米ドル下落の悪影響にも関わらず、前年同期比で安定している。ストラクチャード ファイナンス業務はレバレッジド、インフラ、輸出ファイナンスを中心に良好な業績となり、業務粗利益は前年同期比 19%増加した。キャピタルマーケット業務は、投資適格社債の発行高が低調ななかで業務粗利益を維持した。

さらに、第 2 四半期は当部門の USD/GBP およびハイイールド債市場への投資が初めて実を結んだ。また、当部門がポンド建て劣後債発行（アビバ）の委託を初めて受けたほか、2011 年上半期末には、米国の投資適格社債の発行で 15 位にランクされた（トムソンロイター）。

当事業は複数の大型案件で主導的な役割を果たした。パルマラットによるラクタリスの買収では、SG CIB が単独の金融アドバイザー、リードアレンジャー、ブックランナーを務めた。また、ムバダラの米ドル建て発行では共同ブックランナーとなった。さらに、SG CIB は 10 年連続で「ベスト エクスポート ファイナンス アレンジャー」（『トレードファイナンス』誌、2011 年 6 月）を受賞しており、ストラクチャード ファイナンスにおける主導的地位をさらに示した。

**レガシー資産**は、2011 年第 2 四半期の業務粗利益に 4,300 万ユーロのプラス寄与となった。第 2 四半期は額面で 11 億ユーロの売却、8 億ユーロの償却を行い、計 19 億ユーロを圧縮した。2011 年上半期の業務粗利益への寄与は 8,500 万ユーロと、前年同期の 4,800 万ユーロから拡大し、この間にエクスポージャーは 37 億ユーロ削減された。

当部門の第 2 四半期の営業費用は 11 億 6,300 万ユーロと、コスト削減対策の効果が始まったことを反映して、前期比で 10.1%\*減少した（絶対ベースでは 11.6%減）。経費率は 63.4%で、営業総利益は 6 億 7,200 万ユーロだった。

2011 年上半期の営業費用は、前年同期の 22 億 2,600 万ユーロに対して 24 億 7,800 万ユーロ、また営業総利益は、前年同期の 16 億 6,900 万ユーロに対して 16 億 3,700 万ユーロだった。経費率は 60.2%と引き続き低水準だった。

第 2 四半期の主力業務の**純リスク引当比率**は、当部門の健全なリスク管理を反映してきわめて低い水準だった（0bp）。レガシー資産のリスク引当は 1 億 3,000 万ユーロと、引き続き抑制された。

第 2 四半期の当部門の営業利益は、5 億 2,500 万ユーロだった（前年同期：5 億 3,500 万ユーロ）。グループ当期純利益への寄与は 4 億 4,900 万ユーロであった（前年同期：4 億 1,000 万ユーロ）。

2011 年上半期の当部門のグループ当期純利益への寄与は、前年同期の 9 億 5,100 万ユーロに対して 10 億 4,000 万ユーロとなった。

## 6. 専門金融サービス&保険部門

単位：百万ユーロ	2010年 第2四半期	2011年 第2四半期	増減	2010年 半期	2011年 半期	増減
業務粗利益	926	871	-5.9%	1,775	1,744	-1.7%
比較可能ベース*			+0.3%			+4.2%
営業費用	-466	-458	-1.7%	-912	-928	+1.8%
比較可能ベース*			+8.9%			+12.3%
営業総利益	460	413	-10.2%	863	816	-5.4%
比較可能ベース*			-7.7%			-3.7%
引当金純繰入額	-311	-214	-31.2%	-610	-427	-30.0%
営業利益	149	199	+33.6%	253	389	+53.8%
比較可能ベース*			+41.0%			+57.3%
当期純利益	92	146	+58.7%	162	277	+71.0%

専門金融サービス&保険部門は以下の事業により構成されている。

- (i) 保険事業（生命保険、個人保護保険、損害保険）
- (ii) 専門金融サービス事業（車両オペレーショナルリース・車両管理、設備ファイナンス、消費者金融）

専門金融サービス&保険部門では2011年第2四半期も好調な業績が確認され、グループ当期純利益への寄与は前年同期比72.7%\*増（絶対ベースでは同58.7%増）の1億4,600万ユーロに拡大した。

保険事業では2011年第2四半期も力強い成長が見られた。厳しい市場の下、生命保険の新規契約受入資金は6億ユーロとなった。また、個人保護保険の受取保険料収入は前年同期比35.3%\*の拡大となり、順調に成長を続けるロシアの保険事業からの恩恵を享受した。損害保険事業の新規契約受入資金（カード・小切手保険を除く）は同6.9%増となった。保険事業全体の業務粗利益は、前年同期比17.7%\*増の1億5,300万ユーロとなり、グループ当期純利益は同21.4%\*増の6,800万ユーロに拡大した。また、上半期の業務粗利益は前年同期比16.4%\*増の2億9,800万ユーロとなった。

車両オペレーショナルリース・車両管理事業では、ALDオートモーティブの2011年第2四半期の業績が非常に好調となり、新規契約高は前年同期比32.3%<sup>(1)</sup>拡大した。車両管理台数は前年同期比8.1%<sup>(1)</sup>増の約878,000台となった。

設備ファイナンス事業は、新規契約高（ファクタリングを除く）が前年同期比2.4%\*増の19億ユーロとなり、引き続き拡大基調をみせた。2011年6月末の契約残高（ファクタリングを除く）は、前年同期比4.2%\*減の183億ユーロとなったが、第1四半期比では横ばいだった。

2011年第2四半期の消費者金融事業は引き続き回復基調をみせた。新規貸出高は前年同期比0.6%\*増と安定的に推移した。中でも自動車ローンは前年同期比17.5%\*増と力強い回復を続けており、消費者金融業務における集中戦略の成功を裏付ける形となった。2011年6月末の消費者金融貸出残高は2010年6月末を僅かながら1.2%\*下回る228億ユーロとなった。

専門金融サービス事業の2011年第2四半期の業務粗利益は、契約・貸出残高の減少に伴って前年同期比2.7%\*減の7億1,800万ユーロに低下したが、マージンがよく持ちこたえたことがその減少幅を一部相殺する形となった。成長維持に向けた投資と直近数四半期にわたり実施している集中戦略を背景に、営業費用は前年同期比8.8%\*増の4億200万ユーロとなった。

専門金融サービス事業の第2四半期のリスク引当は引き続き改善した。当四半期のリスク引当は2010年第2四半期の234bpに対し156bpとなり、78bpの改善となった。

<sup>(1)</sup> グループ編成変更の影響を除いたベース

専門金融サービス事業の2011年上半期の業務粗利益は前年同期比2.0%増の14億4,600万ユーロとなる一方、営業費用は同12.3%増の8億1,500万ユーロと拡大した。その結果、営業総利益は同8.7%減の6億3,100万ユーロとなった。

専門金融サービス&保険部門のグループ当期純利益への寄与は、2011年第2四半期は1億4,600万ユーロ（前年同期：9,200万ユーロ）、2011年上半期は2億7,700万ユーロ（前年同期：1億6,200万ユーロ）となった。

## 7. プライベートバンキング、グローバルインベストメントマネジメント&サービス部門

単位：百万ユーロ	2010年 第2四半期	2011年 第2四半期	増減	2010年 半期	2011年 半期	増減
業務粗利益	592	547	-7.6%	1,096	1,127	+2.8%
比較可能ベース*			-5.9%			+3.0%
営業費用	-511	-499	-2.3%	-977	-983	+0.6%
比較可能ベース*			-0.4%			+1.0%
営業利益	76	36	-52.6%	114	120	+5.3%
比較可能ベース*			-52.0%			+3.4%
当期純利益	74	59	-20.3%	129	156	+20.9%
プライベートバンキング	23	31	+34.8%	47	74	+57.4%
アセットマネジメント	20	25	+25.0%	39	65	+66.7%
SG SS およびブローカー	31	3	-90.3%	43	17	-60.5%

単位：十億ユーロ	2010年 第2四半期	2011年 第2四半期		2010年 半期	2011年 半期	
契約資産純受入額（期中）	-1.8	2.2		-13.0	5.2	
運用資産残高（期末）	171	169		171	169	

(a) リクソーが運用する資産およびアムンディを除く

当部門は、以下の3事業により構成されている。

- (i) プライベートバンキング事業（ソシエテジェネラルプライベートバンキング）
- (ii) アセットマネジメント事業（アムンディ、TCW）
- (iii) ソシエテジェネラル セキュリティーズサービス（SGSS）、ブローカー事業（ニューエッジ）

プライベートバンキング、グローバルインベストメントマネジメント&サービス部門では、停滞する市場環境の下、2011年第2四半期は業務基盤の強化が進められた。

2011年6月末現在の運用資産残高が861億ユーロ（前年同期：823億ユーロ）に増加し、2011年第2四半期のプライベートバンキング事業は運用資産残高の大幅な増加（年率ベースで10.2%増）を享受し、顧客基盤を引き続き強化させた。第2四半期に当事業は、「ベストプライベートバンク（中東）」賞（『バンカーミドルイーストマガジン』、2011年4月）と「ベストグローバルウェルスマネージャーオブザイヤー（英国）」賞（『インベスターズコロニカルマガジン』、『フィナンシャルタイムズ』、2011年5月）を受賞した。

第2四半期のアセットマネジメント事業、セキュリティーズサービスおよびブローカー事業（ニューエッジ）は不利となる困難な市場環境に見舞われたが、そのような中で、各事業の業況は良好に推移した。アセットマネジメント事業においてはTCWの契約資産純受入額が14億ユーロとなり、セキュリティーズサービスにおいては預かり資産残高が前年同期比の4.6%増に、ニューエッジも首位の座（上半期の市場シェア11.5%）を確認する結果となった。

当部門の第2四半期の業務粗利益は前年同期比5.9%\*減（絶対ベースでは同7.6%減）の5億4,700万ユーロとなった。営業費用は引き続き抑制され、前年同期比0.4%\*減（絶対ベースでは同2.3%減）の4億9,900万ユーロであった。当部門の第2四半期の営業総利益は2010年第2四半期を大幅に下回る（同40.7%減の）4,800万ユーロとなった。グループ当期純利益への寄与は5,900万ユーロと、業務訴訟問題に対する引当金の繰入により、前年同期比20.3%減となった。

2011年上半期の営業総利益は前年同期比19%\*増の1億4,400万ユーロとなった。経費率は前年同期から1.9ポイント改善して87.2%となった。その結果、グループ当期純利益への寄与は前年同期比19.1%\*増（絶対ベースでは20.9%増）の1億5,600万ユーロとなった。

### **プライベートバンキング事業**

2011年第2四半期のプライベートバンキング事業は、21億ユーロ増と大幅に増加する契約資産純受入額からの恩恵を受けた。この契約資産純受入額の伸び率は年率に換算すると（2011年第1四半期の競合他行の数値を上回る）10.2%となる。2010年12月末の運用資産残高と比較した2011年6月末の運用資産残高は、当上半期の契約資産純受入額38億ユーロに10億ユーロのマイナスの市場効果、17億ユーロの為替差損および5億ユーロのグループ編成変更に関わるプラスの効果を加味した結果、861億ユーロとなった。

2011年第2四半期の当事業の業務粗利益は前年同期比16.2%\*増（絶対ベースでは同19.0%増）の1億9,400万ユーロとなり、約3,000万ユーロの有価証券評価損が影響を及ぼした2010年第2四半期の水準を大きく上回った。このような経常外項目を控除した後の業務粗利益は前年並みとなったが粗利益率は前年同期比8bp減の91bpに悪化した。

当事業の業務の拡大を背景に営業費用は1億5,500万ユーロに増加したものの、第2四半期の営業総利益は前年同期比25.8%\*増の3,900万ユーロに拡大し、グループ当期純利益への寄与も、業務粗利益の増加を反映して、3,100万ユーロ（前年同期：2,300万ユーロ）となった。

2011年上半期の当事業の業務粗利益は前年同期比23.2%\*増（絶対ベースでは同27.4%増）の4億1,400万ユーロとなり、前年上半期を大幅に上回った。営業総利益も62.5%\*増（絶対ベースでは同70.5%増）と大幅に拡大して1億400万ユーロとなり、グループ当期純利益への寄与は同51.0%\*増（絶対ベースでは同57.4%増）の7,400万ユーロとなった。

### **アセット マネジメント事業**

出来高の低迷と株価指数の急落に見舞われた2011年第2四半期の市場環境の下で、TCWでは第2四半期に僅かながら契約資産純受入額を計上した。上半期の契約資産純受入額が14億ユーロとなったことから、アセット マネジメント事業では、2010年末から顕在化し始めた傾向がさらに確認される形となった。

当事業の業務粗利益は前年同期比34.4%\*減の8,000万ユーロとなった。この業務粗利益の低下は一部には第2四半期の運用成績ベースの手数料収入の減少によるものだが、大半は特定業務の報酬制度の変更によるものであった。このような変更は営業費用にも同等な影響を及ぼしたことから、営業粗利益に対する影響はなかった。

営業費用は前年同期比28.7%\*減（絶対ベースでは同34.6%減）の8,700万ユーロとなった。営業総利益は2010年第2四半期の200万ユーロに対して当四半期は700万ユーロの損失となった。また、第2四半期のアムンディの寄与は3,000万ユーロであった。

2011年第2四半期の当事業のグループ当期純利益への寄与は2010年第2四半期の2,000万ユーロに対し2,500万ユーロとなった。

2011年上半期の当事業の業務粗利益は前年上半期を18.4%\*下回る1億6,900万ユーロとなった。一方で営業費用が業務粗利益を上回る24.3%\*の減少（絶対ベースでは27.3%\*減）をみせ1億6,500万ユーロとなったことから、2011年上半期の営業総利益は、2010年上半期の900万ユーロの損失から

400万ユーロの利益へと改善した。アムンディの6,200万ユーロの寄与を加味すると、当事業のグループ当期純利益への寄与は2010年上半期の3,900万ユーロから6,500万ユーロに拡大した。

### ソシエテ ジェネラル セキュリティーズサービス (SGSS)、ブローカー事業 (ニューエッジ)

2011年第2四半期のセキュリティーズサービス事業では、前年同期比9.4%増と業務粗利益の堅調な伸びを享受した。上位50顧客の手数料収入が(2011年5月末現在で前年同期比)3%増加したこと、預かり資産残高および運用資産残高がそれぞれ前年同期比4.6%増と2.7%増となったこと、トレジャリー収入が拡大したことなどが、業務粗利益の伸びを牽引した。

ニューエッジの業績は2011年第2四半期の困難な市場環境の下で不振となった。ブローカー事業の取引高が7.4%減少した上、業務訴訟問題に関する引当金の繰入がニューエッジの業績をさらに圧迫する結果となった。

SGSSとニューエッジの2011年第2四半期の業務粗利益は前年同期比6.5%\*減(絶対ベースでは7.1%減)の2億7,300万ユーロとなった。セキュリティーズサービス事業における設備投資を反映して、営業費用は前年同期比5.8%増\*(絶対ベースでは同5.3%増)の2億5,700万ユーロとなった。

2011年第2四半期の営業総利益は(前年同期:5,000万ユーロ)1,600万ユーロとなった。

セキュリティーズサービスとブローカー事業部門のグループ当期純利益への寄与は前年同期の3,100万ユーロを下回る300万ユーロとなった。

上半期の当部門の業務粗利益は前年同期比でほぼ安定的に推移し、1.3%\*減の5億4,400万ユーロとなった。営業費用は前年同期比5.2%\*増(絶対ベースでは4.5%増)の5億800万ユーロに膨らみ、営業総利益は2010年上半期の6,700万ユーロから3,600万ユーロに減少した。グループ当期純利益への寄与は前年上半期の4,300万ユーロに対し、1,700万ユーロとなった。

## 8. コーポレート センター

2011年第2四半期のコーポレートセンターの営業総利益は、主に以下の要因を受け、2010年第2四半期の1億6,400万ユーロの利益から悪化して1億2,200万ユーロの損失となった

- 当グループの金融債務の再評価額：1億6,000万ユーロの利益(前年同期：2億5,400万ユーロの利益)
- 企業向けローンポートフォリオをヘッジするために使用した信用デリバティブ商品の再評価額：100万ユーロの利益(前年同期：1,800万ユーロの利益)
- フランスおよび英国で導入された「システミックリスク」銀行税：2,500万ユーロの損失

当グループが保有するギリシャ国債に対する評価損失引当金が営業総利益を3億9,500万ユーロ減少させた。

2011年6月30日現在の国際財務報告基準(IFRS)による産業株ポートフォリオの帳簿価格は5億4,200万ユーロ、時価では7億2,100万ユーロとなった。

## 9. 結論

2011年 第2 四半期のグループ当期純利益は7億 4,700万ユーロとなり、欧州ソブリン債危機を発端に混迷する経済・金融環境の下、ソシエテ ジェネラルはそのユニバーサルバンキングモデルの堅固性を実証する形となった。2011年 上半期は、グループ当期純利益に対する寄与が全ての事業で増加し、2011年 6月末のグループ当期純利益は16億 6,300万ユーロとなった。

同時に、当グループは大幅な資本増強を継続させ、コア Tier1 比率を改善させた。

2010年 6月に当グループは、「アンビション SG 2015 年」計画と2012年の財務目標を提示した。このような財務目標は、経済・金融環境の正常化を前提に策定されているが、未だこの正常化は実現されていない。一方で、世界経済の状況とユーロ圏および米国の債務問題を背景に、市場の緊張感が再び高まっており、アフリカおよび中央ヨーロッパを拠点とするグループ子会社においては、地域の政治および経済的な変化からの緊張感も生じている。自己資本と流動性に対する規制が大幅に強化される動きがみられる一方で、（フランスと英国を中心に）幾つかの欧州諸国では銀行セクターを対象とする増税が実施されている。

ソシエテ ジェネラル グループは、堅調な実績に加えて、資本およびリスク調整後資産の極めて慎重な管理、ならびに費用およびリスクの徹底的な管理などを引き続き優先的にを行うことにより、2013年末までには最低でも9%のバーゼル III 基準のコア Tier1 比率を達成する見通しである。この目標の達成は、2011年 上半期に実現し、今後も継続が期待される力強い資本形成に裏打ちされるもので、特にリスク調整後資産の最適化とレガシー資産ポートフォリオの積極的な管理から生じる追加的な資本形成の可能性からも下支えされるものである。

### 2011年および2012年の財務情報開示日程

2011年 11月 8日	2011年度 第3 四半期決算の発表
2012年 2月 16日	2011年 第4 四半期決算および通期決算の発表
2012年 5月 3日	2012年度 第1 四半期決算の発表
2012年 8月 1日	2012年度 第2 四半期決算の発表
2012年 11月 8日	2012年度 第3 四半期決算の発表

本文書にはソシエテジェネラル グループの目標・戦略に関する予測・意見が含まれています。これらの予測は、一般事項と特別事項（特別の定めのない限り、主に、欧州連合が採択している国際財務基準（IFRS）に準拠した会計原則・方法の適用、および既存のプルデンシャル規制の適用）の両方を含む、一連の前提に基づいています。

本情報は、特定の競争・規制環境下における複数の経済前提に基づくシナリオに則して作成されました。当グループは以下を行うことができない場合があります。

- 当グループの事業に影響をもたらす可能性のある全てのリスク、不透明要因またはその他要因を予測すること、およびそれらが当グループの業務に与える可能性のある影響を評価すること。

- リスクまたは複合リスクにより、実際の業績が本プレスリリースに記載されている予測とどの程度異なるかを正確に判断すること。

これらの予測は実現しない可能性があります。投資家の皆様におかれましては、本文書が提供する情報に基づいて投資上の決定をされる際には、当グループの業績に影響をもたらす可能性のある不透明要因やリスク要因を考慮されるようお勧めします。

**特に明記しない限り、ランキングは内部資料によるものです。**

グループの主要指標 - 2011 年半期および第 2 四半期

1) 連結損益計算書

(単位：百万ユーロ)	第 2 四半期				半期			
	2010 年	2011 年	増減(%)		2010 年	2011 年	増減(%)	
業務粗利益	6,679	6,503	-2.6	-1.6(*)	13,260	13,122	-1.0	-1.1(*)
業務粗利益(1)	6,425	6,487	+1.0	+2.1	12,905	13,467	+4.4	+4.4(*)
営業費用	(4,065)	(4,241)	+4.3	6.0(*)	(8,066)	(8,617)	+6.8	+7.6(*)
営業総利益	2,614	2,262	-13.5	-13.4(*)	5,194	4,505	-13.3	-14.4(*)
純引当金	(1,010)	(1,185)	+17.3	+18.6(*)	(2,142)	(2,063)	-3.7	-3.7(*)
営業利益	1,604	1,077	-32.9	-33.5(*)	3,052	2,442	-20.0	-22.0(*)
固定資産売却益	(12)	63	NM		0	64	NM	
持分法適用会社純利益	18	40	X2.2		58	78	+34.5	
連結調整勘定償却	0	0	NM		0	0	NM	
法人税	(431)	(317)	-26.5		(806)	(687)	-14.8	
少数株主持分控除前当期純利益	1,179	863	-26.8		2,304	1,897	-17.7	
少数株主持分	95	116	+22.1		157	234	+49.0	
当期純利益	1,084	747	-31.1	-36.1(*)	2,147	1,663	-22.5	-26.4(*)
当期純利益(1)	916	737	-19.6	-25.4(*)	1,913	1,891	-1.1	-5.1(*)
年率換算グループ ROE (%)	10.9%	6.9%			11.0%	7.8%		
年率換算グループ ROE (%) (1)	9.1%	6.8%			9.7%	9.0%		
Tier 1 自己資本比率	10.7%	11.3%			10.7%	11.3%		

(\*) グループの組織変更に伴う調整と固定為替レートに基づく

(1) 金融債務の再評価による影響の控除後

2) 主要部門別税引後純利益

(単位：百万ユーロ)	第 2 四半期			半期		
	2010 年	2011 年	増減	2010 年	2011 年	増減
フランス国内ネットワーク	312	384	23.1%	591	736	24.5%
国際リテール バンキング	125	116	-7.2%	239	160	-33.1%
コーポレート&インベストメントバンキング 部門	410	449	9.5%	951	1,040	9.4%
金融サービス&保険	92	146	58.7%	162	277	71.0%
プライベートバンキング、グローバルインベストメント マネジメント&サービス	74	59	-20.3%	129	156	20.9%
プライベートバンキング	23	31	34.8%	47	74	57.4%
アセットマネジメント	20	25	25.0%	39	65	66.7%
SGSS&ブローカー	31	3	-90.3%	43	17	-60.5%
主力事業部門	1,013	1,154	13.9%	2,072	2,369	14.3%
コーポレート センター部門	71	(407)	NM	75	(706)	NM
グループ合計	1,084	747	-31.1%	2,147	1,663	-22.5%



連結貸借対照表（単位：十億ユーロ）

資産	2011年6月30日	2010年12月31日	増減（%）
現金および中央銀行預け金	36.6	14.1	x 2.6
損益勘定を通じて公正価値で測定された金融資産	431.0	455.1	-5
ヘッジ目的デリバティブ	7.4	8.2	-9
売却可能金融資産	119.8	103.8	+15
銀行預け金	76.7	70.3	+9
顧客貸出金	376.0	371.8	+1
リース債権および類似契約	28.8	29.1	-1
金利リスクをヘッジしたポートフォリオの再評価差額	1.4	2.4	-40
満期保有目的金融資産	1.8	1.9	-5
税金およびその他の資産	51.4	49.0	+5
売却目的保有非流動資産	0.3	0.1	X5.2
繰延利益配分	1.2	1.1	+11
有形および無形資産その他	25.6	25.2	+1
資産の部合計	1,158.0	1,132.1	+2

負債	2011年6月30日	2010年12月31日	増減（%）
中央銀行預金	4.0	2.8	+44
損益勘定を通じて公正価値で測定された金融負債	351.2	359.0	-2
ヘッジ目的デリバティブ	9.1	9.3	-2
銀行預金	85.2	77.3	+10
顧客預金	341.4	337.4	+1
証券形態の債務	158.4	141.4	+12
金利リスクをヘッジしたポートフォリオの再評価差額	0.4	0.9	-57
税金およびその他の負債	58.3	56.3	+4
売却目的保有非流動負債	0.0	0.0	X3.5
保険会社の責任準備金	84.9	82.7	+3
引当金	2.1	2.0	+3
劣後債務	10.9	12.0	-10
株主資本	47.6	46.4	+2
少数株主持分	4.5	4.6	-0
負債合計	1,158.0	1,132.1	+2

## QUARTERLY RESULTS BY CORE BUSINESSES

	2009 Basel II - IFRS (inc. IAS 32 & 39 and IFRS 4)				2010 Basel II - IFRS (inc. IAS 32 & 39 and IFRS 4)				2011 Basel II - IFRS (inc. IAS 32 & 39 and IFRS 4)			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
<i>(in EUR millions)</i>												
<b>French Networks</b>												
Net banking income	1,781	1,875	1,867	1,943	1,892	1,931	1,913	2,055	2,038	2,038		
Operating expenses	-1,198	-1,206	-1,181	-1,326	-1,241	-1,240	-1,199	-1,378	-1,324	-1,293		
<i>Gross operating income</i>	583	669	686	617	651	691	714	677	714	745		
Net allocation to provisions	-230	-214	-220	-306	-232	-216	-197	-219	-179	-160		
<i>Operating income</i>	353	455	466	311	419	475	517	458	535	585		
Net income from other assets	0	1	0	1	4	1	0	1	1	0		
Net income from companies accounted for by the equity method	2	2	3	6	3	1	2	2	2	2		
Income tax	-120	-155	-158	-107	-144	-162	-176	-155	-182	-199		
<i>Net income before minority interests</i>	235	303	311	211	282	315	343	306	356	388		
O.w. non controlling Interests	11	13	15	14	3	3	3	4	4	4		
<i>Group net income</i>	224	290	296	197	279	312	340	302	352	384		
Average allocated capital	6,078	6,160	6,224	6,291	6,569	6,494	6,189	6,487	6,607	6,551		
<b>International Retail Banking</b>												
Net banking income	1,167	1,189	1,174	1,219	1,183	1,240	1,250	1,257	1,189	1,260		
Operating expenses	-663	-681	-657	-680	-658	-699	-695	-717	-738	-754		
<i>Gross operating income</i>	504	508	517	539	525	541	555	540	451	506		
Net allocation to provisions	-299	-310	-336	-353	-366	-334	-305	-335	-323	-268		
<i>Operating income</i>	205	198	181	186	159	207	250	205	128	238		
Net income from other assets	1	10	0	-4	4	0	-2	-1	4	0		
Net income from companies accounted for by the equity method	1	2	2	1	3	3	3	2	2	3		
Impairment losses on goodwill	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0		
Income tax	-41	-42	-36	-36	-31	-40	-46	-39	-29	-53		
<i>Net income before minority interests</i>	166	168	147	147	135	170	205	168	105	188		
O.w. non controlling Interests	45	42	35	47	21	45	56	64	61	72		
<i>Group net income</i>	121	126	112	100	114	125	149	104	44	116		
Average allocated capital	3,559	3,611	3,562	3,574	3,603	3,653	3,770	3,865	3,980	3,916		

	2009 Basel II - IFRS (inc. IAS 32 & 39 and IFRS 4)				2010 Basel II - IFRS (inc. IAS 32 & 39 and IFRS 4)				2011 Basel II - IFRS (inc. IAS 32 & 39 and IFRS 4)			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
<b>Corporate and Investment Banking</b>												
Net banking income	1,232	2,645	2,348	803	2,144	1,751	1,934	2,007	2,280	1,835		
Operating expenses	-937	-1,162	-1,037	-845	-1,152	-1,074	-1,159	-1,321	-1,315	-1,163		
<i>Gross operating income</i>	295	1,483	1,311	-42	992	677	775	686	965	672		
Net allocation to provisions	-569	-257	-605	-889	-233	-142	-123	-270	-134	-147		
<i>Operating income</i>	-274	1,226	706	-931	759	535	652	416	831	525		
Net income from other assets	0	-2	1	-6	1	-3	0	-5	2	63		
Net income from companies accounted for by the equity method	0	21	13	18	9	0	0	0	0	0		
Impairment losses on goodwill	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
Income tax	108	-361	-200	360	-225	-121	-181	-97	-239	-137		
<i>Net income before minority interests</i>	-166	884	520	-559	544	411	471	314	594	451		
O.w. non controlling Interests	5	6	2	3	3	1	3	3	3	2		
<i>Group net income</i>	-171	878	518	-562	541	410	468	311	591	449		
Average allocated capital	9,336	9,229	8,877	8,401	8,196	8,717	9,626	9,981	9,848	9,616		
<b>Core activities</b>												
Net banking income	2,824	2,810	2,635	1,579	2,167	1,680	2,024	1,894	2,238	1,792		
Financing and Advisory	578	661	642	629	602	656	729	757	641	655		
Global Markets	2,246	2,149	1,993	950	1,565	1,024	1,295	1,137	1,597	1,137		
o.w. Equities	647	1,034	1,057	693	786	357	639	684	884	615		
o.w. Fixed income, Currencies and Commodit	1,599	1,115	936	257	779	667	656	453	713	523		
Operating expenses	-928	-1,153	-1,026	-834	-1,140	-1,060	-1,139	-1,295	-1,299	-1,148		
<i>Gross operating income</i>	1,896	1,657	1,609	745	1,027	620	885	599	939	644		
Net allocation to provisions	-348	-239	-249	-86	-19	-45	-15	7	-38	-17		
<i>Operating income</i>	1,548	1,418	1,360	659	1,008	575	870	606	901	627		
Net income from other assets	0	-1	0	-6	1	-4	1	-5	2	63		
Net income from companies accounted for by the equity method	0	21	14	18	9	0	0	0	0	0		
Impairment losses on goodwill	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
Income tax	-494	-424	-416	-165	-305	-133	-251	-158	-260	-169		
<i>Net income before minority interests</i>	1,054	1,014	958	506	713	438	620	443	643	521		
O.w. non controlling Interests	5	6	3	2	3	1	4	2	3	2		
<i>Group net income</i>	1,049	1,008	955	504	710	437	616	441	640	519		
Average allocated capital	7,936	7,427	6,882	6,557	6,486	6,771	7,026	7,075	6,782	6,806		
<b>Legacy assets</b>												
Net banking income	-1,592	-165	-287	-776	-23	71	-90	113	42	43		
Operating expenses	-9	-9	-11	-11	-12	-14	-20	-26	-16	-15		
<i>Gross operating income</i>	-1,601	-174	-298	-787	-35	57	-110	87	26	28		
Net allocation to provisions	-221	-18	-356	-803	-214	-97	-108	-277	-96	-130		
<i>Operating income</i>	-1,822	-192	-654	-1,590	-249	-40	-218	-190	-70	-102		
Net income from other assets	0	-1	1	0	0	1	-1	0	0	0		
Net income from companies accounted for by the equity method	0	0	-1	0	0	0	0	0	0	0		
Impairment losses on goodwill	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
Income tax	602	63	216	525	80	12	70	61	21	32		
<i>Net income before minority interests</i>	-1,220	-130	-438	-1,065	-169	-27	-149	-129	-49	-70		
O.w. non controlling Interests	0	0	-1	1	0	0	-1	1	0	0		
<i>Group net income</i>	-1,220	-130	-437	-1,066	-169	-27	-148	-130	-49	-70		
Average allocated capital	1,400	1,802	1,995	1,844	1,710	1,946	2,600	2,906	3,066	2,810		

	2009 Basel II - IFRS (inc. IAS 32 & 39 and IFRS 4)				2010 Basel II - IFRS (inc. IAS 32 & 39 and IFRS 4)				2011 Basel II - IFRS (inc. IAS 32 & 39 and IFRS 4)			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
<b>Specialised Financial Services &amp; Insurance</b>												
Net banking income	740	805	810	884	849	926	888	876	873	871		
Operating expenses	-430	-441	-446	-501	-446	-466	-464	-465	-470	-458		
Gross operating income	310	364	364	383	403	460	424	411	403	413		
Net allocation to provisions	-234	-293	-338	-359	-299	-311	-299	-265	-213	-214		
Operating income	76	71	26	24	104	149	125	146	190	199		
Net income from other assets	0	1	1	-18	0	-4	0	-1	-1	-1		
Net income from companies accounted for by the equity method	-18	-13	-7	-16	-1	-7	1	-5	1	8		
Impairment losses on goodwill	0	-19	1	-26	0	0	0	0	0	0		
Income tax	-22	-18	-8	0	-30	-41	-35	-42	-55	-56		
Net income before minority interests	36	22	13	-36	73	97	91	98	135	150		
O.w. non controlling Interests	3	2	3	1	3	5	4	4	4	4		
Group net income	33	20	10	-37	70	92	87	94	131	146		
Average allocated capital	4,423	4,511	4,611	4,712	4,739	4,825	4,954	4,806	4,968	5,009		
<b>Private Banking, Global Investment Management and Services</b>												
Net banking income	588	670	636	640	504	592	568	606	580	547		
Operating expenses	-554	-562	-557	-555	-466	-511	-504	-521	-484	-499		
Gross operating income	34	108	79	85	38	81	64	85	96	48		
Net allocation to provisions	-18	-9	-12	-1	0	-5	5	-7	-12	-12		
Operating income	16	99	67	84	38	76	69	78	84	36		
Net income from other assets	-1	2	-1	-1	0	0	0	-1	2	0		
Net income from companies accounted for by the equity method	0	0	0	0	26	21	28	25	32	30		
Income tax	1	-26	-15	-20	-9	-22	-17	-23	-21	-6		
Net income before minority interests	16	75	51	63	55	75	80	79	97	60		
O.w. non controlling Interests	1	1	1	1	0	1	0	-1	0	1		
Group net income	15	74	50	62	55	74	80	80	97	59		
Average allocated capital	1,368	1,327	1,323	1,352	1,391	1,466	1,422	1,391	1,376	1,409		
<b>o.w. Private Banking</b>												
Net banking income	197	222	206	204	162	163	203	171	220	194		
Operating expenses	-131	-132	-131	-132	-130	-134	-147	-140	-155	-155		
Gross operating income	66	90	75	72	32	29	56	31	65	39		
Net allocation to provisions	-17	-9	-11	-1	0	-1	0	-3	-11	0		
Operating income	49	81	64	71	32	28	56	28	54	39		
Net income from other assets	0	0	0	0	0	0	-1	1	0	0		
Net income from companies accounted for by the equity method	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
Income tax	-11	-18	-15	-16	-8	-5	-13	-7	-10	-8		
Net income before minority interests	38	63	49	55	24	23	42	22	44	31		
O.w. non controlling Interests	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0		
Group net income	38	63	49	55	24	23	42	22	43	31		
Average allocated capital	452	436	443	427	405	461	473	476	502	487		
<b>o.w. Asset Management</b>												
Net banking income	113	169	171	193	83	135	109	150	89	80		
Operating expenses	-152	-151	-174	-179	-94	-133	-116	-114	-78	-87		
Gross operating income	-39	18	-3	14	-11	2	-7	36	11	-7		
Net allocation to provisions	0	0	0	0	0	-3	4	-4	1	-1		
Operating income	-39	18	-3	14	-11	-1	-3	32	12	-8		
Net income from other assets	0	-1	1	-1	0	0	0	-1	0	0		
Net income from companies accounted for by the equity method	0	0	0	0	26	21	28	25	32	30		
Income tax	13	-5	0	-4	4	0	1	-10	-4	3		
Net income before minority interests	-26	12	-2	9	19	20	26	46	40	25		
O.w. non controlling Interests	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0		
Group net income	-26	10	-2	8	19	20	26	46	40	25		
Average allocated capital	402	375	355	418	491	435	418	419	435	446		
<b>o.w. SG SS &amp; Brokers</b>												
Net banking income	278	279	259	243	259	294	256	285	271	273		
Operating expenses	-271	-279	-252	-244	-242	-244	-241	-267	-251	-257		
Gross operating income	7	0	7	-1	17	50	15	18	20	16		
Net allocation to provisions	-1	0	-1	0	0	-1	1	0	-2	-11		
Operating income	6	0	6	-1	17	49	16	18	18	5		
Net income from other assets	-1	3	-2	0	0	0	1	-1	2	0		
Net income from companies accounted for by the equity method	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
Income tax	-1	-3	0	0	-5	-17	-5	-6	-7	-1		
Net income before minority interests	4	0	4	-1	12	32	12	11	13	4		
O.w. non controlling Interests	1	-1	1	0	0	1	0	-1	-1	1		
Group net income	3	1	3	-1	12	31	12	12	14	3		
Average allocated capital	514	516	525	507	495	570	532	496	439	476		

	2009 Basel II - IFRS (inc. IAS 32 & 39 and IFRS 4)				2010 Basel II - IFRS (inc. IAS 32 & 39 and IFRS 4)				2011 Basel II - IFRS (inc. IAS 32 & 39 and IFRS 4)			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
<b>Corporate Centre</b>												
Net banking income	-595	-1,468	-865	-358	9	239	-252	56	-341	-48		
Operating expenses	5	-55	-20	-77	-38	-75	-18	-38	-45	-74		
<i>Gross operating income</i>	<i>-590</i>	<i>-1,523</i>	<i>-885</i>	<i>-435</i>	<i>-29</i>	<i>164</i>	<i>-270</i>	<i>18</i>	<i>-386</i>	<i>-122</i>		
Net allocation to provisions	-4	8	-2	2	-2	-2	1	-4	-17	-384		
<i>Operating income</i>	<i>-594</i>	<i>-1,515</i>	<i>-887</i>	<i>-433</i>	<i>-31</i>	<i>162</i>	<i>-269</i>	<i>14</i>	<i>-403</i>	<i>-506</i>		
Net income from other assets	3	-1	-1	725	3	-6	0	20	-7	1		
Net income from companies accounted for by the equity method	-1	-2	1	0	0	0	-1	4	1	-3		
Impairment losses on goodwill	0	1	-1	2	0	0	0	0	0	0		
Income tax	134	480	377	213	64	-45	83	-8	156	134		
<i>Net income before minority interests</i>	<i>-458</i>	<i>-1,037</i>	<i>-511</i>	<i>507</i>	<i>36</i>	<i>111</i>	<i>-187</i>	<i>30</i>	<i>-253</i>	<i>-374</i>		
O.w. non controlling Interests	42	42	49	46	32	40	41	47	46	33		
<i>Group net income</i>	<i>-500</i>	<i>-1,079</i>	<i>-560</i>	<i>461</i>	<i>4</i>	<i>71</i>	<i>-228</i>	<i>-17</i>	<i>-299</i>	<i>-407</i>		
<b>Group</b>												
Net banking income	4,913	5,716	5,970	5,131	6,581	6,679	6,301	6,857	6,619	6,503		
Operating expenses	-3,777	-4,107	-3,898	-3,984	-4,001	-4,065	-4,039	-4,440	-4,376	-4,241		
<i>Gross operating income</i>	<i>1,136</i>	<i>1,609</i>	<i>2,072</i>	<i>1,147</i>	<i>2,580</i>	<i>2,614</i>	<i>2,262</i>	<i>2,417</i>	<i>2,243</i>	<i>2,262</i>		
Net allocation to provisions	-1,354	-1,075	-1,513	-1,906	-1,132	-1,010	-918	-1,100	-878	-1,185		
<i>Operating income</i>	<i>-218</i>	<i>534</i>	<i>559</i>	<i>-759</i>	<i>1,448</i>	<i>1,604</i>	<i>1,344</i>	<i>1,317</i>	<i>1,365</i>	<i>1,077</i>		
Net income from other assets	3	11	0	697	12	-12	-2	13	1	63		
Net income from companies accounted for by the equity method	-16	10	12	9	40	18	33	28	38	40		
Impairment losses on goodwill	0	-18	0	-24	0	0	0	1	0	0		
Income tax	60	-122	-40	410	-375	-431	-372	-364	-370	-317		
<i>Net income before minority interests</i>	<i>-171</i>	<i>415</i>	<i>531</i>	<i>333</i>	<i>1,125</i>	<i>1,179</i>	<i>1,003</i>	<i>995</i>	<i>1,034</i>	<i>863</i>		
O.w. non controlling Interests	107	106	105	112	62	95	107	121	118	116		
<i>Group net income</i>	<i>-278</i>	<i>309</i>	<i>426</i>	<i>221</i>	<i>1,063</i>	<i>1,084</i>	<i>896</i>	<i>874</i>	<i>916</i>	<i>747</i>		
Average allocated capital	29,274	29,373	29,889	32,442	35,339	36,503	37,187	37,538	37,972	38,754		
Group ROE (after tax)	NM	2.9%	4.1%	1.5%	11.1%	10.9%	8.7%	8.4%	8.8%	6.9%		

## 付属書類：財務諸表作成の基準となる事項

1- 2011年6月30日に終了した当グループの上半期連結決算は、2011年8月2日の取締役会において承認された。

2011年6月30日に終了した6カ月間に関する財務情報は、この日付において適用されている、欧州連合が採択しており、国際財務報告基準（IFRS）に準拠した方法により作成している。本財務情報は、国際会計基準（IAS）第34号「中間財務報告」により定められている中間財務報告を構成するものではない。本財務情報は2011年6月30日現在の中間財務情報の監査報告を発行する会計監査人に提出された。

2-グループ ROE は、IFRS 基準によるグループの平均株主資本に基づいており、(i)株主資本の部に直接計上された未実現または繰り延べキャピタルゲインもしくはキャピタルロス（転換準備金を除く）、(ii)超劣後債、(iii)株主資本として認識された永久劣後債、を除外し、(iv)超劣後債および修正再表示された永久劣後債に係る支払利息を控除したうえで算出している。また、ROE の算出に使用した当期純利益は、超劣後債に係る当期分の税引き後支払利息、および2006年以降は、修正再表示された永久劣後債に係る税引き後支払利息（2011年第2四半期：8,100万ユーロ、2011年上半期：1億6,200万ユーロ）を除外したものである。

3. 普通株1株当たり利益を算出する上で、「グループ当期純利益」を以下の項目に係る税引き後支払利息において修正した（利益の場合は削減し、損失の場合は追加）。

- (i) 超劣後債（2011年第2四半期：7,500万ユーロ、2011年上半期：1億5,000万ユーロ）
- (ii) 株主資本として認識された永久劣後（2011年第2四半期：600万ユーロ、2011年上半期：1,200万ユーロ）

従って、普通株1株当たり利益は、修正後の当期純利益を平均発行済み株式数から自己株式を控除した数字で除して求める。ただし、(a)トレーディング目的で保有する自己株式、および(b)流動性契約に基づき保有する自己株式は平均発行済み株式数に含まれる。

4- 純資産は、以下を除くグループ株主資本より構成される(i)超劣後債（62億ユーロ）、従来は負債に分類されていた永久劣後債（8億ユーロ、(ii)超劣後債および永久劣後債に係る支払利息。ただしトレーディング目的で保有する自己株式および流動性契約に基づき保有する自己株式の帳簿価額は含まれている。1株当たり業簿価格の算出に使用した株式数は、2011年6月30日現在の発行済み株式数（優先株を含む）から自己株式および金庫株を控除したものである。ただし、(a)トレーディング目的で保有する自己株式、および(b)流動性契約に基づき保有する自己株式は含まれている。

5- ソシエテ ジェネラル グループのコア Tier 1 資本とは、Tier 1 資本から Tier 1 に算入可能なハイブリッド商品の残高およびパーゼル II に基づく控除率を差し引いたものである。この控除率とは、コア Tier 1 資本から Tier 1 資本に算入可能なハイブリッド商品を差し引いたものと、コア Tier 1 資本との割合に相当する。

2011年半期および第2四半期の詳細（英語版）は以下のホームページでご覧いただけます

- ・ IR 専用ホームページ：[www.ir.socgen.com](http://www.ir.socgen.com)
- ・ グループの総合ホームページ：[www.societegenerale.com](http://www.societegenerale.com)

本リリースの照会先

ソシエテ ジェネラル 証券会社 東京支店

広報部 Tel：03-5549-5580 Fax：03-5549-5129